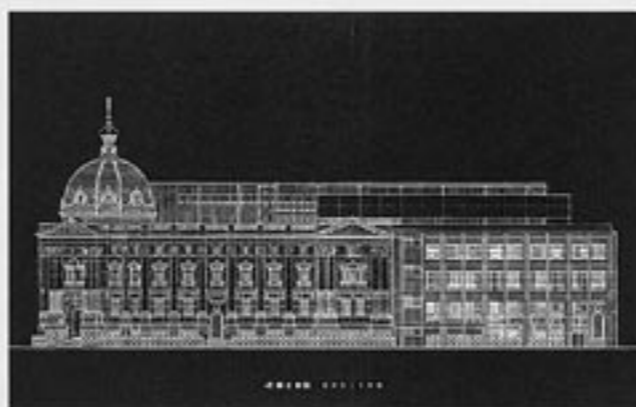
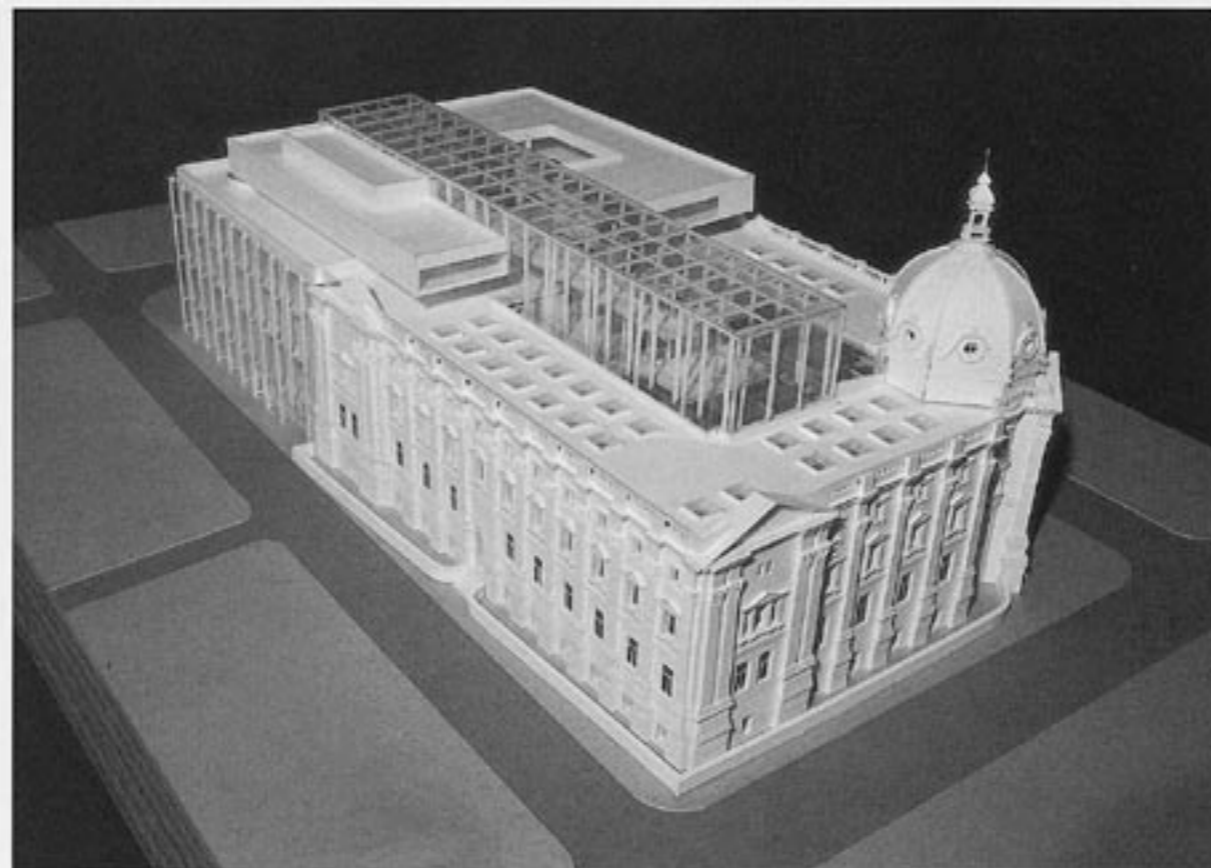


# 歴史的建造物・再利用による 博物館・計画と設計

神奈川県立博物館をケース・スタディとして

竣工賞受賞

安部 浩



## ■設計主旨

地価高騰や開発ブームによって歴史的建造物と呼ばれる建物が寿命や経済効率の思惑等を理由に次々と消滅しつつある中で、歴史的建造物の保存・再生に関して、近年様々な手法が試みられている。今後も歴史的建造物の再利用はますます重要な課題となってくると考えられる。

本計画では、歴史的建造物を文化の生きた貴重な証書者であるとし、開内地区全体を博物館として考える。そこで街の中に残っている歴史的建造物についての情報、管理をするための機能を既存の神奈川県立博物館に複合化した施設として提案する。

神奈川県立博物館は、旧横浜正金銀行(設計: 妻木頼眞)の建物を再利用している保存活用的好例ではあるが、老朽化と教育館及部門の手狭さが問題となってきたことも、本計画の前提となっている。

